



2018年5月18日 「奥浅草だより」第1号

『奥浅草 地図から消えた吉原と山谷』の刊行から、早や4ヶ月になります。その節は大変お世話になり有難うございました。お陰様で4月20日には再販の運びとなりました。ここに、お世話になった方々に、その後の奥浅草情報をお届けしたいと存じます。

燈虹塾の発足

初回として、去る4月4日に台東区竜泉の西徳寺において発足式を行った燈虹塾（とうこうじゅく）をご紹介します。これは、江戸伝統文化推奨を目的とし、代表は日比谷孟俊（元慶應義塾大学院教授、工博&文博）、世話人は吉原達雄（吉原神社総代）ほか3名です。続いて4月10日には西徳寺で江戸文化についての講演会が開かれ、服部征夫・台東区長と日比谷代表の講話、さらに望月一門のお囃子で盛りあがりしました。

三社祭

2018年5月18-20日

江戸の三大祭の1つと言われる三社祭が始まりました。1日目は大名行列、2日目は例大祭式典と町内神輿連合渡御、三日目の日曜日はクライマックスで、本社神輿各町渡御があります。奥浅草の一部が浅草神社の範囲になりますので、言問通りと吉野通りの間や、吉原大門から千束通りも渡御の範囲です。ただし遊郭跡地は入りません。玉姫公園の近くまでは本社神輿がまいります。言問通りの南側は特に大変な人出となります。

この「奥浅草だより」は、とくにお世話になった25名の方にお送りしております。

著者 佐野陽子・江原晴郎 編集 森下恒子

info@sanox.co.jp